

読書のまち・かわさき通信 No.66



読書のまちかわさき

読書のまち・かわさき事業推進委員会 会長
川崎市教育委員会 学校教育部 指導課長

2014. 12. 5 発行

第12回 かわさき読書の日のつどい

かわさき読書週間

10月26日～11月8日

毎年、10月末から11月はじめの2週間で「かわさき読書週間」と位置づけています。期間中の11月の第1日曜日には、「かわさき読書の日のつどい」が開催されており、今年は11月2日（日）に中原市民館で行われました。

会場では、市内の児童生徒から寄せられた読書活動に関する「読書標語」「読書ポスター」「本の紹介文」などの展示と優秀作品の表彰が行われました。また、長年にわたり図書館・学校・地域で子どもの読書を推進する活動に取り組んできた7つの優秀団



体が表彰されました。展示されている作品を多くの皆様が見てくださいました



講演会では「魔女の宅急便」でおなじみの童話作家・絵本作家の角野栄子氏をお迎えして、『ものがたりの力』というテーマでお話していただきました。角野先生のお考えになる物語と物語のもつ力、そしてご自身のブラジルでの体験と創作について語っていただきました。角野先生の作品『ズボン船長さんの話』について小・中学生と意見交流する場面では、子どもたちから本を読んだ感想とともに、「本を書いている時はどんな気持ちですか」「ズボン船長の中で一番思い入れのある場面はどこですか」などの質問が出され、先生

からは「楽しいですよ。こう読んでほしいとかは書かないようにしています。考えで縛ることはしたくない。自由じゃないとね。」「『ズボン船長さん』では男の子が太鼓をたたくシーン。お化けの出るシーンが好きです。」という返答がありました。作者から創作物について語っていただく貴重な機会となりました。

★“来場者の感想より”★

- このつどいには初めて参加させて頂きましたが、来年以降もよいお話が聞けることを楽しみにしています。
- 「物語のもつ力」について作者の思い、願いがよく伝わってくるお話で、今でも本を書き続けていらっしゃる角野栄子さんを応援したくなるお話でした。
- 授賞式は形式に則って格式がありました。
- 川崎はとてもよい取組をいろいろ展開していることに改めて感心しました。川崎市民で良かったです。



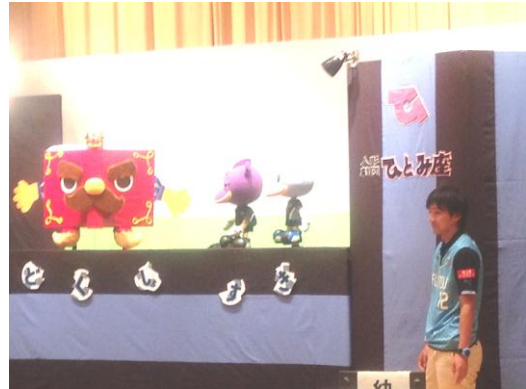
福音館書店刊

絵：鴨沢祐仁

川崎フロンターレと本を読もう！

キックオフ！ “読書のまち かわさき”

「読書のまち・かわさき」事業の一つとして、今年度も川崎フロンターレと協働し、読書推奨キャンペーン事業「川崎フロンターレと本を読もう！」を実施しています。今年は昨年度に引き続き、「帯コメント大賞」を実施し、選手等により7名のコメントが選ばれました。大賞受賞者へは10月22日の試合前に授賞式が行われました。また例年行われている「人形劇団ひとみ座&川崎フロンターレによる人形劇とサッカー選手等による読み聞かせ」を市立図書館と小学校で行いました。フロンターレのTシャツを着て参加してくれたお子さんもあり、楽しい雰囲気の中の会になりました。



第2回 全市図書館ボランティア研修会

この研修会は、学校図書館ボランティアの方が対象ですが、読書に興味・関心のある市民の方々の参加、学校図書館ボランティアに関心のある方の参加も大歓迎です。

今回は、SF翻訳家・書評家・編集者と多方面で活躍中の大森望先生をお迎えして、「いろいろな本ができるまで」についてお話をいただきます。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

日時：2015年1月20日（火）

午前9：50～午前11：20〔受付開始 9：30〕

会場：中原市民館 多目的ホール〔パークシティ武蔵小杉 ミッドスカイトワー2F〕

講師：^{おおもり のぞみ}大森 望 氏

〈プロフィール〉

SFを中心として活動する、書評家、翻訳家、アンソロジーリスト。高知県高知市出身。京都大学文学部英文科卒業後、新潮社に入社。新潮文庫編集部に所属しSFの編集に携わる。著書に『ヤング・インディ・ジョーンズ 密林の聖者』文春文庫、『21世紀SF1000』ハヤカワ文庫、共書に『文学賞メッタ斬り!』シリーズ PARCO 出版、『ライトノベル☆めった斬り!』太田出版、編著に『NOVA 書き下ろし日本SFコレクション』河出文庫等多数。

☆当日の参加は自由です。学校関係の方は、学校を通してお申込みください。

